



TITLE:

学位取得者と論文題目(I 研究所の  
概要)

AUTHOR(S):

---

CITATION:

学位取得者と論文題目(I 研究所の概要). 霊長類研究所年報 1992, 22: 49-49

ISSUE DATE:

1992-10-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/164393>

RIGHT:

7月16日(火)

9:30~10:00 所長挨拶(久保田競)  
ガイダンス(川本 芳)  
10:00~11:00 形態基礎研究部門(岩本光雄)  
11:10~12:10 神経生理研究部門(久保田競)  
13:00~14:00 心理研究部門(松沢哲郎)  
14:10~15:10 生活史研究部門(杉山幸丸)  
15:20~15:50 社会研究部門(加納隆至)  
16:00~16:30 ニホンザル野外観察施設  
(東 滋)  
16:30~17:30 所内見学  
18:30~ 懇親会

7月17日(水)

9:00~10:00 変異研究部門(庄武孝義)  
10:00~11:00 生理研究部門  
(林 基治・野崎眞澄)  
11:10~12:10 生化学研究部門(竹中 修)  
13:00~14:00 系統研究部門(野上裕生)  
14:00~15:00 サル類保健管理施設  
(後藤俊二)  
15:30~17:00 総合討論(各関係教官)  
(文責:川本 芳)

## 市民公開日(第2回)

研究所では、当研究所が目的としているところや現在行っている研究を地域の人々に理解していただくことや、1989年10月のチンパンジー逃亡事件を契機として、研究所を原則として立入禁止にしたことなどの理由から、昨年度(平成3年度)より市民公開日を設けている。

来訪者数の予想が難しいことから、昨年度同様、丸山、富岡地区の中学生以上の方々(ただし小学校高学年は保護者同伴なら可)を対象とした。各区長にお願いして案内状を送り、下記のプログラムで実施した。約30名の来訪者があった。

日時:平成3年10月20日(日) 13:00~16:00  
13:15~13:30 久保田所長挨拶  
13:30~14:30 講演 加納隆至教授  
「ビッグミーチンパンジーを訪ねて」  
14:30~16:00 所内見学(サル放飼場)、ビデオ上映、パネルでの研究所

案内

14:30~16:00 質問コーナー  
(文責:野崎眞澄)

## 学位取得者と論文題目

京都大学博士(理学)

五百部裕(課程)

Male-male relationships of wild bonobos  
(*Pan paniscus*) at Wamba, Republic of  
Zaire.

大石高生(課程)

GO/NO-GO課題の学習と遂行におけるサル  
前頭葉の役割—GABA拮抗阻害剤の局所注  
入による研究—

稲垣晴久(論文)

ニホンザルの体毛の地域差

井上美穂(課程)

Application of paternity discrimination by  
DNA fingerprinting to the analysis of social  
behavior of Japanese macaques.

佐倉 統(課程)

Reconsideration of the concept of group of  
animals.

高井正成(課程)

Middle Miocene monkey fossils from La  
Venta, Colombia, South America.

室山泰之(課程)

Reciprocity of grooming in primates.

京都大学修士(理学)

関根雅夫:カニクイザルの母子隔離に伴う生理的、  
免疫的、行動的指標の変動

田中 香:野生ニホンザルのコドモの葉食行動:  
他個体との関わりに関して

花沢明俊:V4ニューロンの活動に対するノルアドレナリンの影響:注意に係る脳内のしくみ